

ひらの区民モニター 第1回アンケート結果報告

平成22年度から、モニター登録していただいた区民の方へのアンケート調査を行い、様々な区の取り組みについて、より効果的な施策の進め方を考えていくために、「区民モニター」調査を行っています。

■第1回調査の目的

区の広報紙やホームページに関して、より効果的な情報提供を行うため、区民の方が、ご自身で求める情報を、取得されていく方法(スタイル)を知ることにより、その方法(スタイル)に沿った情報提供のあり方を検討する。

■調査の実施状況

調査期間 平成22年7月～8月 **回答数** 284票 うち 無効回答 1票
方法 郵送又はインターネット **回答率** 90.4%
対象 平成22・23年度区民モニター登録者313人 (公募106人、無作為抽出207人)



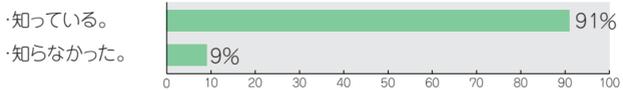
■区民モニター数および有効回答者数

| | 区民モニター数 | | | 有効回答者数 | | | 年齢別回答者数 | | | | | | | |
|---|---------|-----|-----|--------|-----|-----|---------|------|------|------|------|------|------|-----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 | 計 |
| 計 | 116 | 197 | 313 | 108 | 175 | 283 | 27 | 52 | 54 | 32 | 75 | 39 | 4 | 283 |

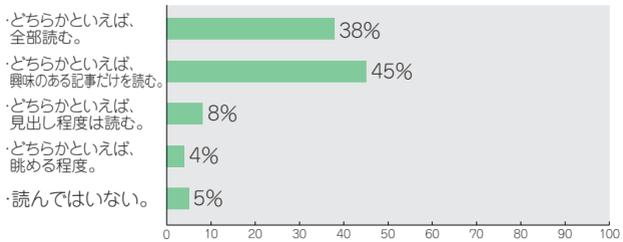
(グラフの数値は小数点以下を四捨五入しています)

(1) 広報紙の認知度について

1 あなたは毎月1日に新聞折り込みでお届けしている、『大阪市の』広報紙「大阪市政だより」をご存知ですか？



2 上の質問で、「知っている。」とお答えになられた方にお聞きします。あなたの「大阪市政だより」の読み方は、次に当てはめるとどれにあたるでしょうか？最も近いものをひとつお選びください。

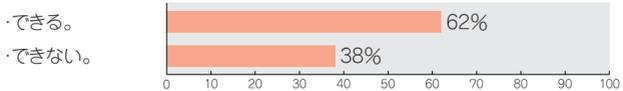


全体的な傾向について

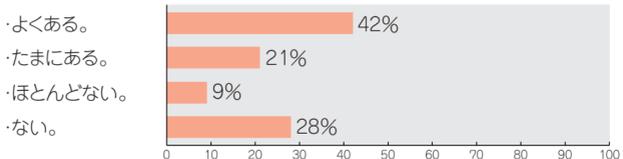
区の広報紙について、「知っている。」と答えられた方が86%を占めました。男女別では、女性の方に認知度が高く、年齢別では、年齢が上がるほど認知度が高いという結果でした。また、市政だよりと区の広報紙の読み方を比較すると、市政だよりは「どちらかといえば、興味のある記事だけを読む。」と答えられた方のほうが多いのに対し、区の広報紙は「どちらかといえば、全部読む。」と答えられた方のほうが多いという結果でした。

(2) インターネットについて

5 あなたはご自宅で、パソコンのインターネットを利用することができますか？



6 あなたはインターネットを使って、物事を探したり調べたりすることができますか？

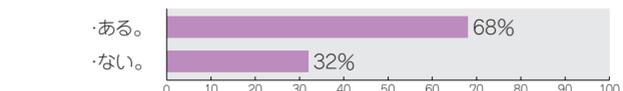


全体的な傾向について

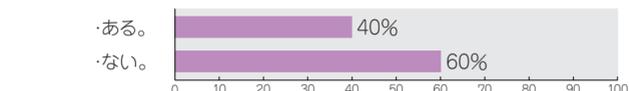
インターネットを利用することができるかと答えられた方は、全体の62%を占めました。年齢別では、年齢が上がるほど、利用できると回答された方の割合が少なくなっています。また、利用することができるかと答えられた方が、全体の62%を占めたのに対し、平野区役所のホームページをごらんになったことがある方は全体の30%にとどまりました。

(3) 情報取得のスタイルについて

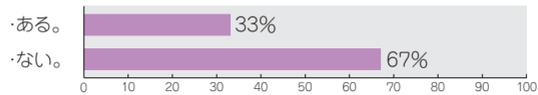
9 あなたは、なにがしかの事(何でも結構です)で、市役所・区役所、市の施設などに「電話」で問い合わせたことがありますか？



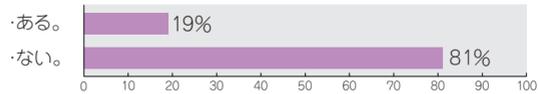
10 あなたは、なにがしかの事(何でも結構です)を、市役所・区役所、市の施設などの「ホームページ」で調べたことがありますか？



11 あなたは大阪市や平野区の「広報紙で見たこと」を、更に、市役所または区役所などに「電話」で問い合わせたことがありますか？



12 あなたは大阪市や平野区の「広報紙で見たこと」を、更に、市役所または区役所などの「ホームページ」で調べたことがありますか？

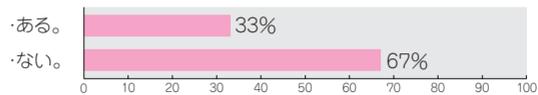


全体的な傾向について

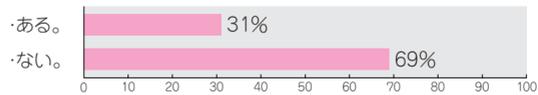
電話でのお問い合わせの経験がある方は、全体の68%を占めました。男女別では、女性のほうが10%高く、特に30～50歳代の割合が高いです。また、平野区の広報紙については、「詳細ではなくても、多種・多様な記事を数多く掲載してほしい。」が、全体の72%を占めました。

(4) 講座参加について

14 あなたは、公設・民営にかかわらず、一般的に社会教育や生涯学習といわれている、講座や教室に自主的に参加したことがありますか？



16 あなたは、大阪市や平野区の「広報紙で知った」、講座や教室に参加したことがありますか？

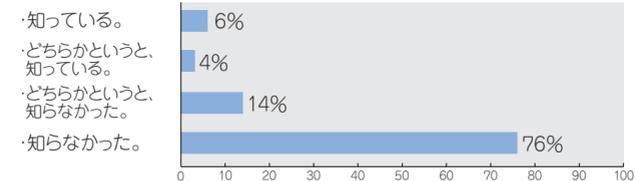


全体的な傾向について

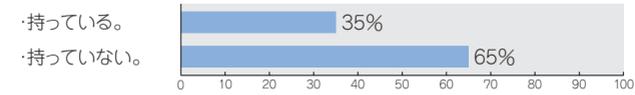
各種の講座などに参加した経験のある方が、全体の33%を占めました。また、参加した講座のうち、大阪市や平野区の広報紙で知ったものに参加した方が、全体の31%を占め、各種の講座に参加する多くの方が、その講座を大阪市や平野区の広報紙で知って、参加しておられます。

(5) 各事業の認知度について

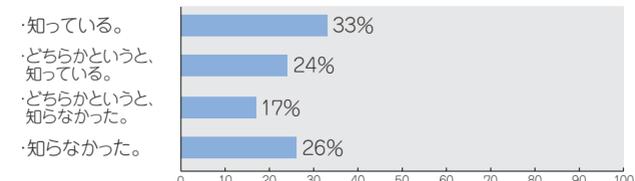
17 平野区では、発達障がいや知的障がいなど「目に見えない」障がいを正しく知っていただき、知らないことからくる差別や偏見をなくすことを目的としたガイドブックを作成しています。このガイドブックを使って勉強会を開催していただいた店舗には、障がいの者の方でも安心して利用できるお店として、「ハートステッカー」を掲示していただいています。あなたはこのハートマークのステッカーのことをご存知でしたか？



18 防災についてお聞きします。周辺の避難場所や安全な避難経路、救助資材の置き場所などを地図上に書き入れたものを「防災マップ」と言われていますが、あなたはお住まいの地域の、このような「防災マップ」をお持ちですか？



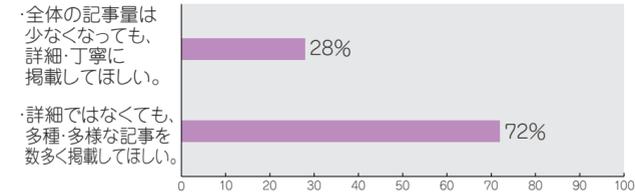
19 平野区では、区内の史跡、名所に設置したポイントを歩いて見て、わがまち平野の再発見をしていただくことを目的として、ウォークラリーの地図とパンフレットを作成しています。あなたはこの「平野区うお〜くらり〜」のことをご存知ですか？



全体的な傾向について

回答のうち、「知っている。」と「どちらかという、知っている。」を合わせた割合が50%をこえた事業は、「平野区うお〜くらり〜」と「子ども110番の家」でした。事業を開始してからの期間の長いものが、より多くの方に認知されているという結果でした。

13 平野区の広報紙についてお伺いします。広報紙では、紙面に限りがあるため、一つ一つの記事を詳細にお伝えしようとすると、掲載できる記事の数が減ってしまいますし、より多くのことがらを紹介しようとすると、一つ一つの記事は、短くなってしまいます。次の2例に限定した場合、あなた自身では、どちらの考え方が近いでしょうか？

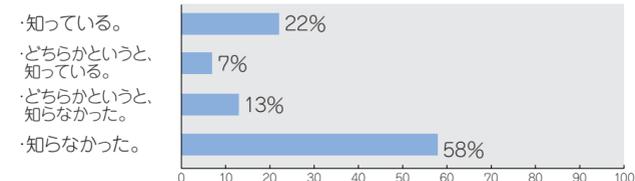


15 14の質問で、「ある。」とお答えになった方は、その施設名又は主催者名をご記入ください。(複数の場合も一箇所をご記入ください。)

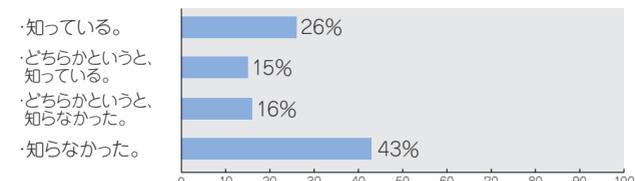
- 主な市関係施設又は主催者(67件)**
- クレオ大阪南(11件)
 - 生涯学習ルーム(8件)
 - 市民交流センター(6件)
 - コミュニティプラザ平野(区民センター)(6件)
 - 平野区民ホール(6件)
 - 市民学習センター及び総合生涯学習センター(5件)
 - 区生涯学習講座(3件)
 - 保健福祉センター(3件)
 - クラフトパーク(2件)
 - 他に「コミュニティセンター」(4件)
 - 他(13件)

- 民間営利施設又は主催者(4件)** **民間非営利施設又は主催者(7件)**
不明(9件) **未回答(6件)**

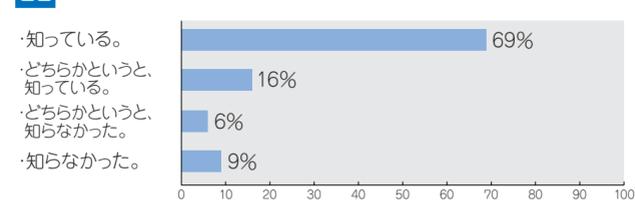
20 平野区では、毎年5月に平野の古代史をテーマにした「古代市」という催しが行われていますが、あなたはこの催しについて、ご存知でしたでしょうか？



21 平野区では、毎年10月に、コミュニティプラザ平野(区民センター)で健康づくりや人権尊重をテーマにした「ひらの秋のフェスタ」という催しが行われていますが、あなたはこの催しについて、ご存知でしたでしょうか？



22 あなたは「子ども110番の家」をご存知ですか？



アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートの結果は、より効果的な情報発信を推進していくための貴重な資料として活用させていただきます。アンケート結果の詳細については、区役所区民情報コーナーまたは平野区役所ホームページ(<http://www.city.osaka.lg.jp/hirano/>)でご覧いただけます。